

### 三島市議会の議員定数のあり方に関する市内団体向けアンケート結果

回答の内訳 現状維持 : 6 団体  
 (18 団体) 1 名減員 : 3 団体  
 2 名減員 : 5 団体  
 4 名減員 : 1 団体  
 わからない : 2 団体  
 その他 : 1 団体

| No. | 定数のあり方 | 定数のあり方についての理由   |
|-----|--------|---|
| 1   | 現状維持   | 議員 1 人当たり人口と財政的な見地から現状が妥当と考えられる。  |
| 2   | 現状維持   | 特に増減の必要性を感じない。  |
| 3   | 現状維持   | 野村稔氏の説明に納得しました。<br>次回の改選後に、再度検討してください。  |
| 4   | 現状維持   | 議員定数の削減は少数派の民意を反映させづらくなる可能性があるので現状維持が良いと思う。   |
| 5   | 現状維持   | 今後はこれまで以上の多様性への対応が求められる。市民の意見やニーズを各方面から収集し、多様な考え方のもとに対応・解決していくためには、現行の定数を減員すべきではないと考える。   |
| 6   | 現状維持   | 中長期的な視点で考えれば削減検討の必要性を感じるものの、一度削減すれば増員判断は難しくなることから、現状の議会機能や質を担保するためにも、削減によって市民への悪影響がないよう、議会運営のあり方等について事前に検討すべきと考えます。   |
| 7   | 1 名減員  | 財政難の時代にあつて、人口減少に伴う議員定数の削減は多分に必要なんだろうと思われまます。三島市においては市長の考えや個々の議員の意見は広報等で拝見するのですが、市政のチェックと政策提言をなすべき議会としての方向性が今一つ見えないため、議会の存在価値が感じられず、議員定数を減少してもという考えが出てくるように思います。   |
| 8   | 1 名減員  | ・本市の財政規模や市民一人当たりの歳出決算額その他市との比較から定数削減を考えるべきである。<br>・委員会委員がそれぞれの機能をはたすための構成員は 6～7 人が適正であると考え。活発化が期待できる。   |
| 9   | 1 名減員  | ① 議会は出席義務者が多く、限られた時間での審議のため、十分な議論ができにくいので委員会を重視したい。総務委員会を含め全常任委員会 7 名とし、賛否同数の場合には議長が採決に加わるとよい。委員が少なくなることで、当事者意識が更に強くなり、真剣な討議がされると思う。<br>② 少子高齢化で高齢者人口が増え、生産年齢人口は企業誘致に取り組んでも減る可能性が大きい。財政は厳しくなるので、職員数の見直しと議員定数の削減は喫緊の課題と思う。   |
| 10  | 2 名減員  | 三島市の人口からすると市議会議員は 18 から 20 名ぐらいが良いのではないかとと思う。   |
| 11  | 2 名減員  | 参考資料の議員一人当たりの人口と議員一人当たりの標準財政規模から掛川市・島田市と比較して 2 名減員が妥当と考えています。議会運営においても質問者の人数、委員会の機能なども 2 名減員する事でレベルアップした質問・議論が行われるのではないのでしょうか。議員の皆さんがより一層、市民の声を聞き市政に反映させる活動を積極的に行う事を期待しますし、2 名減員でも可能です。   |
| 12  | 2 名減員  | 議員数は、各自治体が自主的な判断で定めることとされています。今回、8 年ぶりに検討されている中で、5 会派中 2 会派が「2 名削減」を提案しています。議員数が減少すると、議員が身近にいない地域は、関心が薄れ投票率が低下したり民意が反映しなくなるなどのデメリットが考えられますがその点は、議員一人一人の活動如何にかかっていると考えます。現在、三島市の「議員一人当たりの人口」は、人口が多い順から数えて 23 市中 10 位です。2 名削減しても、順位は変わりません。以上のことにより、議員自ら身を切る改革を提案された 2 会派の「2 名削減案」の提案理由を高く評価し賛同します。(追伸) 事務局が作成した資料は、大変わかりやすく整理されており、すばらしい資料でした。 |
| 13  | 2 名減員  | ・民間企業においては、働き手が自然減少するという状況に直面している。その課題に関して、民間は主に自助努力によって生産性を高めたりしながら企業経営を行っている。一方で、市議会の定数に関しても現状維持という意見が出ていることに関しては率直に納得ができない。<br>・人口減に伴う税収減という流れにおいては、まず、定数減を実施し、市議削減によって不要となった支出を、三島市の未来に投資すべき。<br>・三島市の規模で、22 名というのは他のエリアと比較しても多い。沼津市などの割合を目指すべき。<br>・学校行事にご参加を見合わせるなどしていただき、業務改善に努めていただきたい。学校行事への参加見合わせ等に関しては、必要に応じご協力いたします。              |

| No. | 定数のあり方 | 定数のあり方についての理由  |
|-----|--------|--|
| 14  | 2名減員   | 現状で特に問題はないと思うが、将来の人口減と市の財政とを考えると見直しを必要と考えます。   |
| 15  | 4名減員   | 令和3年9月に提出した要望書に記載のとおりです。<br>(議会事務局注：当該要望書には、「少子高齢化の進展、市財政の逼迫、議員活動のマンネリ化と現状の取り組み状況等から議会改革を推進し、市議会の各委員会を6名構成とし18名で充分機能できると考え、現行22名から18名へと4名の議員削減を要望します。」とあります。)  |
| 16  | わからない  | 議員や行政の仕事を人口割合や一人当たりの支出額などで判断すべきことではないと思う。ましてや他市町と比較が多いから、少ないからでは判断できない。提出資料だけで判断を求めることは危険と感じた。   |
| 17  | わからない  | 理事会、理事のひとりからの意見です。<br>国会議員、県議会議員との兼ね合いも考慮に入れたらどうですか。   |
| 18  | その他    | <p>****委員に意見を求めたところ、15名中11名より意見が出され、結果は以下の通りとなりました。<br/>それぞれの委員の意見を尊重し、委員会の意見としてはまとめず、個々の意見をもって回答とします。<br/>総括すると議員の質の向上を求める意見が多い結果となりました。減員(1~10名)を求める声が多いことも併せてしっかりと受けとめていただき、今後のあり方をご検討いただきたいと思えます。</p> <p>1. 議員定数について<br/>現状維持 3名<br/>減員すべき 7名(1名減…2名、2名減…3名、7名減…1名、10名減…1名)<br/>わからない 1名</p> <p>2. 1の回答の理由について<br/>現状維持<br/>・今までの議論を見ましたが、削減するほうが今抱えている問題を解決できる、とは思えません。議員の質の向上と市民の受票率の問題は別だと思えます。<br/>・議員定数については他市町の数と比較して妥当と思いますが、市議活動の幅と効率化を更に高め、市民への貢献を高めていただく余地があるとの思いから、現状維持を選びました。<br/>・三島市は新幹線の駅もあり、東京への通勤や通学圏となっており、議員を削減しては多様な意見、提案に対しての判断が難しく、一部の方の考えに偏る傾向となり市民にはデメリットの方が多くなると考えます。<br/>また、専門家が議員削減に対しては否定的な意見があるということも無視できません。東京圏で働く人や三島で育って東京で働いている若者が、三島を居住の場所と考える魅力ある三島市を創るためにも多くの方の意見や考えが必要な中で議員削減提案よりも考えなくてはならない問題が山積みと思えます。</p> <p>減員すべき<br/>(1名減)<br/>・3委員会×7名 21名で議長採決となって何が悪いのかよくわかりません。<br/>・前改正から8年経過し、今回検討とのこと。今後の人口減少を考えると、今減員しないと現状のままになって10年以上続くことになる。他市との比較を見ても、1名減が妥当と考える。委員会7名×3=21名でよいと思う。</p> <p>(2名減)<br/>・委員会兼任、外部監査をすれば減員は可能、人口比にしても減員が妥当。議会の内容の充実のため、大局を見据え民意を反映できる議員が必要。人口比から考えれば6名減も可能と思うが、現実的には2名減が妥当か。</p> <p>(7名減)<br/>・議員1名に対して人口7,000人が適当ではないか?(富士沼津と同様)<br/>・市議を見ていると批判が多く、先を見た方針が出されていない。<br/>・手当が多いため、当選することが目的になってしまっている。</p> <p>(10名減)<br/>・社会教育事業に費用対効果を求めるなど論外です。(削減した)10名の議員報酬を、これから三島市を担う青少年育成事業に有用されてはいかがでしょうか。<br/>わからない<br/>・他市町の人口と定数を比較すると1ないし2名減が妥当な気がするが、実情が把握しきれないので、「わからない」にさせていただきました。</p> |

|   |
|---|
| <p>その他のご意見</p>  |
| <p>定数削減なしとしても、議員におかれましてはデジタル化や多様性への取組みは積極的に進めてもらいたい。デジタル化は業務の効率化というより、社会インフラの変化なので、遅れないことが重要。</p>   |
| <p>今後、市民に対する直接的なアンケート等を積極的に実施して欲しいと思います。</p>  |
| <p>消防団員の減少になかなか歯止めがかからない状況の原因のひとつに、分団の地域性により少ない人数の町内で一個分団の定数を選出するには、無理な町内もあるのでそれを解決するには三島市消防団の再編が必要なのではないかと考えられます。再編を行うには消防団本部だけでは、無理なので三島市議会と町内会連合会で協議をして進めていただきたい。</p>  |
| <p>以前に総合計画審議会に参加させていただきましたが、議員さん達は良く勉強されていると感じました。</p>  |
| <p>経済対策にご尽力いただきありがとうございます。現在、原材料・原油高騰等により大変厳しい状況に置かれてる事業所が多くいます。引き続きご支援をお願いします。</p>   |
| <p>県内各市の人口で議員定数を決定するのではなく、諸問題、課題に個々の議員がどれだけ取り組んでいるかだと思います。三島市でも少子高齢化、児童数がかなり減少しています。会派関係なく人口増加、豊かな気持ちで人生を送れる様、力合わせて議員としての仕事をお願い致します。</p>  |
| <ul style="list-style-type: none"> <li>・市民の声を今以上に反映する議会を目指してください。</li> <li>・現状22名の議員の皆さまに置かれましては、それぞれご活躍されているかと思いますが、人口減少や財源の問題もありますが、お一人お一人が“木”を見るのではなく “森”を見て活動していただければ2名減でも十分かと。</li> <li>・次世代を見据え、覚悟をもった議員に実のある議会にしていきたいと思います。市民も議会に興味をもっともつべきだし、市民が興味を持つ工夫をすることも必要と感じました。</li> <li>・肩書だけの議員が多い。実際、参加協力しての肩書だと思う。</li> <li>・各委員会の諸案を12名(今より10名減)で就業されては？二元代表制を理解するうえで、地方行政は議事、執行両機関は仲良しグループで良いのでは？</li> </ul> |

【回答いただいた団体名（順不同）】

三島市医師会、三島地区環境保全推進協議会、三島市観光協会、三島市国際交流協会、三島市自治会連合会、三島市社会教育委員会、三島市社会福祉協議会、三島商工会議所、三島市身体障害者福祉会、三島市スポーツ関係団体連合会、富士伊豆農業協同組合三島函南地区本部、三島市PTA連絡協議会、三島市文化芸術協会、三島市消防団、三島市保健委員会、三島市民生委員・児童委員協議会、連合静岡沼駿三田地域協議会、三島市老人クラブ連合会

## 三島市議会の議員定数のあり方に関する市内団体向けアンケート

|          |  |
|----------|--|
| 団 体 名    |  |
| 代表者役職・氏名 |  |
| 連絡先電話番号  |  |
| メールアドレス  |  |

1 三島市議会の議員定数（現在22名）について、どのようにお考えでしょうか。  
あてはまるものに○をお付けください。

②、③の場合は減員・増員すべき数もお答えください。

- ① 現状維持（22名）
- ② 減員すべき（\_\_\_\_\_名削減）
- ③ 増員すべき（\_\_\_\_\_名増加）
- ④ わからない

2 1の回答を選ばれた理由をお聞かせください。

|   |
|---|
| -----<br>-----<br>-----<br>-----<br>-----<br>-----<br>----- |
|---|

3 その他、市議会についてのご意見などがございましたらお聞かせください。

|                                  |
|----------------------------------|
| -----<br>-----<br>-----<br>----- |
|----------------------------------|

アンケートは以上です。ご協力ありがとうございました。

アンケート送付先：三島市議会事務局 FAX 055-983-2601